



令和 7 年度当初予算案の要点



大野市

住み続けたいまちとして持続することができるよう、人口を維持・増加させる方策と、人口減少に適応する方策の両面から取り組みます。

地域経済の活性化を目指した稼ぐ力の向上、こどもや若者、女性がイキイキと暮らせるための取組、地域を支える人づくりや人材の確保などを進めます。

また、誰もが安全・安心で快適に暮らせるための取組や脱炭素の推進と気候変動への適応、行財政運営の最適化を進めます。

- 令和 7 年度は、第六次大野市総合計画前期基本計画の最終年度となります。前期基本計画の成果指標の達成に向け、全庁体制で取り組みます。
- 北陸新幹線金沢・敦賀間の開業や中部縦貫自動車道県内全線開通のチャンスを最大限生かせるよう、地域経済を活性化させる施策を進めます。
- こどもが健やかに育つことができる施策、若者が将来に希望と夢を持てる施策に取り組みます。また、女性が個性と能力を発揮できる施策に取り組みます。
小中学校の教育環境の整備を引き続き実施するほか、若者の移住・定住への取り組みや子育てサポートなどを引き続き実施します。
- あらゆる世代に多様な学びの機会を提供するとともに、地域での交流を深め、地域を支える人づくりを進めます。
また、人口減少による人材不足に対応するため、各分野における人づくりと人材確保に取り組みます。
- 誰もが、安全・安心で、快適な生活を送ることができるよう、健康づくりの促進や老朽化する道路や橋梁の補修などの生活環境の維持・整備、防災・防犯対策の強化に取り組みます。
- カーボンニュートラルの達成に向けて、市民や事業者、行政が協力しながら、脱炭素型ライフスタイル、省エネルギーの促進に取り組みます。
また、再生可能エネルギー等の利用促進、森林吸収源対策の推進のほか、気候変動適応策の推進に取り組みます。
- 人口減少が進む中であっても必要な行政サービスの提供を維持するため、業務の効率化や公共施設等の再編など、行財政運営の最適化に取り組みます。

【予算案の概要】

(単位：千円、%)

会計区分	7年度当初	6年度当初	増減額	増減率
一般会計	20,265,000	21,380,000	1,115,000	5.2
特別会計	7,926,379	8,140,149	213,770	2.6
企業会計	3,366,679	2,886,730	479,949	16.6
計	31,558,058	32,406,879	848,821	2.6

(1) 予算規模

- 一般会計は202億6,500万円で、過去最大となった前年度の当初予算と比較して5.2%減となりました。

予算が減額となった主な要因としては、開成中・陽明中・下庄小学校の施設改修事業やごみ処理施設の基幹的設備改良などの継続事業が減額となったこと、防災行政無線の更新、屋内型子どもの遊び場の整備が終了したことなどによるものです。

増額の主な要因としては、有終南小・富田小学校の施設改修事業や(仮称)乾側地域交流センターの施設整備を始めることや、国の児童手当制度の拡充に伴う児童手当の給付額の増額、民間保育所等運営費の基準となる公定価格の改定による増額などによるものです。

新規事業は、第六次大野市総合計画の各分野で、ソフト事業を中心に7事業を立ち上げ、ハード事業・ソフト事業における27の臨時事業を実施することにより、市民や団体、企業などと協働し、持続可能なまちづくりに全力で取り組みます。

歳入は、令和6年度の国の定額減税による個人住民税の減額などの影響からの回復などにより、市税が5.3%増の38億8,722万6千円、地方交付税では、臨時財政対策債振替分がなくなったことによる0.8%増の61億円、市債は建設事業費の減少と臨時財政対策債が皆減となったことにより46.4%減の18億2,580万円となり、財政調整基金繰入金は前年度同額の5億円としています。

令和7年度も大型事業が継続することから、市債残高は増加傾向にありますが、将来を見通して必要な事業を実施するため、交付税措置のある有利な地方債や国・県の補助金などの活用で財源を確保し、健全財政の維持に努めていきます。

- 特別会計は、前年度当初予算と比較して2.6%減の79億2,637万9千円、企業会計は、16.6%増の33億6,667万9千円となりました。
- 全会計の総計は、前年度当初予算と比較して2.6%減の315億5,805万8千円となりました。

(2) 主要事業

地域経済の活性化を目指した稼ぐ力の向上

○ 稼ぐ力応援事業

13,174千円

市内事業者の稼ぐ力の向上のため、「結のビジネスプランコンテスト」を開催するほか、商品などの高付加価値化への取り組み、まちなかでの創業などの取り組みを支援します。



○ 観光地魅力向上事業【拡充】

10,999千円

誘客促進のための観光素材の磨き上げを行います。

新たに、まちなか遠足の受け入れや、宿泊ありがとうキャンペーンを実施します。また、観光素材の磨き上げのためのイベントの開催に補助します。

○ 特産作物ブランド力強化事業補助

7,294千円

特産作物（穴馬スイートコーンなど）の出荷や、里芋栽培省力化のための生分解性マルチ購入などに対し補助します。また、特産作物の栽培や出荷作業の省力化につながる機械の購入に対して補助します。

こども・若者・女性がイキイキと暮らせる取組

○ 結婚世帯応援事業【拡充】

11,360千円

若い世代の結婚に対する機運醸成を図るため、新婚世帯に祝金を支給するほか、所得が一定額以下の世帯に対して、新生活のスタートアップに係る経費を支援します。

また、新たに、民間事業所などと連携し、若者の交流に関する取り組みの検討をスタートします。

○ 出産・育児スタート応援事業【拡充】

37,477千円

妊娠から育児期にかかる健診費用等を助成し、異常の早期発見、支援につなげます。また、出産・子育て応援給付金を支給します。

新たに、産後うつ等の予防を目的とした宿泊型、通所型、訪問型の産後ケア事業を実施します。

○ 子育てライフサポート事業

3,711千円

子育てにかかる負担軽減と心身のリフレッシュにつなげるため、一時保育や家事援助、リフレッシュにつながるサービスを提供します。

○ 小中学校施設改修事業【臨時】

934,442千円

児童生徒の学校生活や学習環境の充実を図るため、有終南小・富田小学校の改修工事（バリアフリー化、トイレの洋式化、放課後の子どもの居場所づくりなど）を実施します。また、令和5年度から実施している開成中・陽明中学校、下庄小学校の改修（外構工事）を実施します。（一部、3月補正含む。）

新たに、中学校体育館の空調設置に係る実施設計、有終西小学校改修の事前調査を行います。



地域を支える人づくりと人材確保

- 結の故郷地域が輝く交付金事業 17,584千円

地域の活性化や住民の交流を進める事業を支援します。

また、人口減少や少子化、高齢化などによる地域の課題解決を検討する取り組みを支援します。

- 旧乾側小学校等跡地活用事業【臨時】 144,800千円

地区住民の交流の拠点として、旧乾側小学校体育館を活用し、(仮称)乾側地域交流センターを整備します。センター建築工事(R7~R8 継続費)および外構工事を実施します。

誰もが安全・安心で、快適に暮らせる取組

- 健康づくり応援事業【拡充】 54,036千円

生活習慣病を予防する効果が高い「歩く」ことを通じた健康づくりを推進するため、活動量計またはスマホアプリを利用したヘルスウォーキングプログラムを実施します。令和7年度は、参加者を3,330名に拡充し実施します。

- 予防接種事業【拡充】 113,598千円

予防接種法に基づき定期予防接種を実施します。

新たに、带状疱疹ワクチンを定期接種として実施します。

- 舗装補修事業、橋梁補修事業【拡充】 261,520千円

長寿命化計画に基づく市道の補修工事、橋梁の定期点検および補修工事を実施します。

舗装補修(21路線) 1億4,950万円

橋梁補修(1橋)、点検(101 橋) 1億1,202万円

脱炭素の推進と気候変動への適応

- 木質バイオマス利用促進事業補助【新規】 1,000千円
- 林地内端材搬出支援事業補助【新規】 1,500千円

木質バイオマス等の再生可能エネルギーの利用を促進するため、薪ストーブやペレットストーブなどの木質バイオマス利用機器の導入に対し補助します。また、森林内に留置されている木の枝や根元材などの端材を木質バイオマス用材として利用するための搬出経費を補助します。



- 公共施設LED 照明導入業務【臨時】 (債務負担行為:R8~R17) 111,936千円

公共施設におけるCO2削減と省エネルギーを図るため、リース方式によりLED照明を導入します。

令和7年度導入予定施設 : 4施設(エキサイト広場、大野有終会館、図書館、あっ宝んど)

CO2削減効果 : 181.76t/年